

事業所名 児童デイサービスさんこま(児童発達支援)

利用児童数 6

回収数 5

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	0	0	0		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	4	1	0	0	・子どもがリラックスして過ごせる環境だと思います。	牧場の穏やかな環境を維持し、個々の特性に合わせて情緒が安定し、リラックスして活動に集中できる空間づくりを継続します。
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	0	0	1	・日々、子どもの動きの状態に合わせて進めていただけて、とても満足しています。	固定化された枠組みに子どもを当てはめるのではなく、当日の体調や意欲、馬との関わり方に合わせた柔軟なプログラム実施を今後も徹底します。
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	1	1	・イベントで交流機会がある	地域住民やボランティア、多世代が関わるイベントを通じ、子どもたちが社会との接点を持てる機会を継続的に創出します。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	0	0	・様々なイベントがあり、とても魅力的。兄弟も参加できるのでありがたいです。	きょうだい児も含めた家族全体のウェルビーイングを重視し、家族で参加できる季節行事やワークショップの充実を図ります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5	0	0	0	・活動後のイラスト付きのフィードバックはとてもありがたい、理解を深められている。他の施設への連携もしやすいです。ありがとうございます。 ・写真や動画を送っていただければ嬉しいです。	「視覚的に伝わる記録」は、他機関との連携や家庭での振り返りにおいても重要であると認識しています。今後もICTや手書き資料を活用した質の高い情報共有を継続します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	0	1		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	1	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	0		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	2	・訓練はしていると思うが参加していないため。	保護者が直接参加できない場合でも、避難訓練の実施風景やマニュアルのポイントを通信等で共有し、安全管理体制の可視化を進めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1	0	2	・訓練はしていると思うが参加していないため。	同上
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	4	0	0	1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	3	0	0	2	・事故がないので分かりません	日頃の事故防止対策を徹底しつつ、万が一の際の連絡体制やフローについては、定期的なモニタリング報告時等に改めて説明を行い、安心感の確保に努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	0	0	0	・動物のお世話をとても楽しみにしています。	「動物のお世話」という役割を持つことが子どもの自己有用感に繋がっています。馬への給餌や手入れを通じた、命を敬う心の育成を支援の核として継続します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0	・日々の支援にとっても感謝しています。楽しんで通えています。遠方からでもずっと通いたいと思えます！	遠方からの通所にかかる負担を上回る価値を提供できるよう、三陸駒舎でしか得られないホースセラピー等の専門的支援の質をさらに追求します。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、子ども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。